

あなたらしく ありのままがいいよ！

～共に学ぶ楽しい子育て～

本講座では、5回の講座ごとに、講師の津家庭教育研究会 山下裕子さん・松原利子さんのテーマに沿ったお話の後、意見交流もしました。日頃から悩んでいることを出し合う中で、子育ての考え方や対応についてたくさんのヒントをいただきました。

5回の講座の学びとして、受講者の皆さんの振り返り（感想）を伝言板にまとめました。

アンケートから《学びの伝言板③》

第3回家庭教育講座

令和3年 9月14日（火）実施

時には **がまん**が必要です

- ・ 子どもたちに性交について聞かれたときに、納得するように伝えること。いつでも私も、相談相手になれるように、フランクにありたい。
- ・ がまんする心（自己統制能力）が、今後の自分の欲求に対するコントロールに繋がり、それが性教育にも繋がってくると聞いて、時間はかかるとは思いますが、少しずつがまんする時間を長くもてるようにしようと思いました。
- ・ 親が持つ価値観が、子どもに伝わってしまうので、私自身が夫婦生活をどう思っているか、夫婦でいたわりあっているか、考えていきたいと思いました。
- ・ 子どもを育てる中で、性教育においても、やはり最も大切で全ての基になることは、スキンシップで十分甘えさせて、注目し、関心を寄せ、話を聴き、褒めるという日常の関わり方なのだと改めて思いました。

家庭における性教育 ④

情操教育で 豊かな心を養う

誤ったセックス観や ゆがんだ性の目覚め・・・
そうならないためには、**4つの能力**が必要です

- * 自分に本当に必要なものを選択できる
- * 美しいものを理解できる
- * 物事の良し悪しの判断ができる
- * 自分をコントロールできる

⇒ つまり **情操教育で 豊かな心を養う**ことが大切です

・情操教育で豊かな心を育てていくことが、家庭においても大事であり、愛を感じたり愛を伝えたりすることに繋がるんだなあと、改めて学ばせていただきました。日々大切に、こどもたちと続けていきたいです。

・ 「性」をタブー視せず、オープンに会話できる家庭環境を作ることが必要と痛感しました。